



木童通信 vol.74

URL: <http://www.kodoh.co.jp>

2018年10月発行

★から松工場見学 in長野

木童の原点といえば“^{南波}南波から松”。会社創業当時から生産者の南波さんと一緒に製品を作り上げた大切な産地のひとつです。今回工場視察の為、長野県の加工工場に行ってきました。

① 原板は地元の信頼している製材所さんから赤身勝ちのものを仕入れてあります。例えば木童の130巾の製品は、150巾の原板を使用します。さらにそこから外壁用とフローリング用で選別します。外壁は積積み後そのまま天然乾燥し、フローリングは人工脱脂乾燥にかけます。

② から松の暴れを抑える為に欠かせない“**圧縮乾燥**”を現在も変わらず行っています。圧縮乾燥とは製材した板を枕木で積み重ねた上に約2tの重しを載せて乾燥窯に入れ、絶乾近くまで含水率を落とし、窯から出した後も水分傾斜が止まるまで養生するという非常に時間と手間のかかる乾燥方法です。

③ 最終工程のサンダー加工の様子。これでフローリングが完成です。

④ ちょうど納品予定のから松桐油塗装のフローリングがありました。ここの工場の塗装は職人さん自らの手塗りです。オイル塗装の場合、特に機械ではきれいに乗らず、結局人の手で塗りなおす必要がある為このような方法をとっています。

⑤ 今回見学して一番の変化は「エンドマッチ加工が可能になった」事です。施工性アップはもちろん、長材を運びにくい最近の運送事情には大変助かります。右にいらっしゃるのが南波さん。60代半ばを超えて最近では後進の指導にも熱心です。丁寧なモノづくりの過程を実際に自分の目で見て、から松の良さを実感しました。今後も自信をもっておすすめしていきたいと思えます。



木童 東京支店
東京都新宿区西新宿7-7-26 ワコーレ新宿第一ビル408
TEL:03-5937-5069 FAX:03-5937-5079
E-mail:tokyo@kodoh.co.jp

木童 神戸本社
兵庫県神戸市北区大沢町篠437
TEL:078-954-0072 FAX:078-954-0257
E-mail:muku@kodoh.co.jp

★久々に…建築散歩 ～神戸/舞子～

神戸の舞子公園内にある「旧木下家住宅」は、昭和16年に建てられた数寄屋造近代和風住宅で、主屋・土蔵・納屋が国の登録有形文化財に登録されています。この住宅の一部を改修するにあたり、土佐樽の床材を納品したことから、現場確認のついでにゆっくり建築に触れる時間を過ごすことができました。

物資不足の時代とは言え、書院に使われている柱の化粧面はすべて柂目無地、水廻りに使われている材はなぐり加工を施すなどの手の掛けよう。木材も加工もやはりお屋敷と呼ばれるにふさわしい一級品を見ることができます。



見どころはたくさんあるのですが、やはり木材に目が行ってしまいます。その中で広縁の床に使われているのが、長尺4mもの柂でした。しかも底光りのする見事な柂目無地の板です。

現在は柂の原板も減る中、事情を伝えて現場に馴染まないレベルのものをなんとか2m材で納めました。現場では塗装で色合わせをされていましたが、やはり自然の色合いには適いませんね。



海風の吹く駅前から少し歩けばこの緑豊かな佇まいに出会えます。また、同公園内には他にも「旧武藤山治邸」と「孫文記念館」があり、趣の違う建築を一度に楽しめます。



★家づくり現場レポート① S邸/東京都区内 設計：光風舎

源平パネルの新しい施工例となる住宅を見学してきました。源平パネルは杉の柂目材を表面に使用した3層積層パネルです。これまで建具や階段踏板など広めの面で見えるような使い方が多かったのですが、今回は手すりや建具の引手など小割りでいろいろなところに使われていたのが面白いと思いました。特にシナ合板の建具に源平パネルを引手として使用するアイディアは勉強になりました。

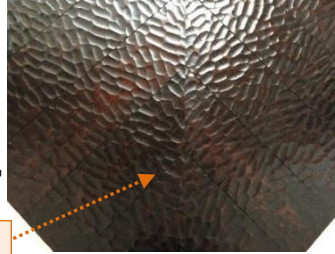
この住宅では1Fは針葉樹、2Fは広葉樹の床材を使い、それぞれ雰囲気も異なりますが、源平パネルは家全体いろいろな場所に登場します。どこでも違和感なく納まっているのが印象的で、家全体の雰囲気にもよく合っていました。



★家づくり現場レポート② O邸ゲストハウス/三重県 設計：菅家設計室

住宅の敷地内にゲストハウスとして新築された離れの和室。そこに木童の石見あかまつを採用頂きました。180mmある幅広の無地上小のあかまつに、名栗加工を施して、さらに拭き漆仕上げという贅沢さ。また壁際の吊床板にも、同じく石見あかまつつりこいばの40mmの板を4mの長さで使用しており、とても迫力があります。

あかまつつりこいばの漆塗りはこれまでも見かけたことはありましたが、名栗加工の拭き漆は今回初めてでした。歩いた時の素足の感触も良く、高級感漂う立派な和室に仕上がっています。この和室の真ん中は畳を上げると掘ごたつになっていて、10人掛けぐらいの大きな机がこれから入る予定なのだから、このお部屋できっと楽しい宴が開かれることでしょう。



部屋の角の合わせ部分。大工さんの丁寧な仕事ぶりが窺えます。

★家づくり現場レポート③ 台中フローラ世界博覧会 住宅展示場/台湾・台中市

2018年11月3日から、台湾の台中市で開催される国際的イベントの花博。こちらの敷地内に日本の木造建築をPRする展示場を建てたいという要望があり、プレカットした構造材から仕上げ材まですべての木材を日本より輸出納品させて頂きました。さらに日本から大工さんを現地へ派遣。現地の職人さんに加え、日本の建築を教えつつ、協力しながら工事を進めるため、このプロジェクトのための合同のチームが組まれました。



まずは基礎の墨出しと土台の施工からスタート

内壁の仕上げを兼ねた杉パネル(厚28mm)。

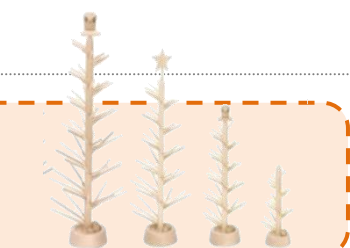
垂木上に厚み30mmの杉化粧野地

外壁に「から松」を張って完成

工事期間中でも、見学者が途切れることがなく、日本の木造建築に対する関心の高さ、期待の大きさを感じました。展示場の場所は“チケットブースの隣”ということもあり、博覧会の会期中にさらにたくさんの方々、日本の建築の良さ、日本の木の良さを知ってもらえたら嬉しいですね。

KODOH NEWS

木童の無料住宅相談会 久しぶりに大きめの会場で開催します。今回は木の小物の販売も行います♪ 神戸方面のお客様お待ちしております。
●日時：9/29(土)・30(日) 10時～16時 ●場所：道の駅みき



※木童通信をHPよりダウンロード出来ます。バックナンバーをご希望の方はこちらをご利用下さい。